

深谷市学校教育グランドデザイン

深谷市で学ぶ子どもたちを「教え、育てる」ために、深谷の教育をどのように進めていくか、学校教育振興懇談会やPTA代表等との協議を踏まえ、基本的な方針を示したものです。

Point1

教育の大きな役割

教育には、子どもたちに、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力や社会を形成する主体者としての資質を育成することが求められています。将来「一人立ち」できるために、人との関わりや社会の中で、自らの夢を描き、実現できるよう、子どもたちを教え導いていきます。

Point2

深谷の教育資源に立脚して

深谷市には、渋沢栄一翁や生沢クノ女史など、多くの先人がいます。また、豊かな自然や世界をリードする産業が立地する環境にも恵まれています。

義務教育段階での基礎・基本の徹底を踏まえつつ、ふるさと「深谷」のこのすばらしい資源を活用した教育を推進していきます。

Point3

深谷市の先人 ～ 渋沢栄一翁 ～



渋沢栄一翁の足跡から、今、求められる教育の姿にたどり着くことができます。

- I 近代日本の国づくりを推進した生涯～「**立志の精神**」
 - II 論語を精神的基盤として、実業界にたずさわった姿～「**忠恕の心**」
 - III 人々をまとめ、会社をおこし、慈善活動・国際親善に取り組む姿～「**支え合う心**」
- 「**深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組めます**」

Point4

深谷市の「めざす子ども像」

夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

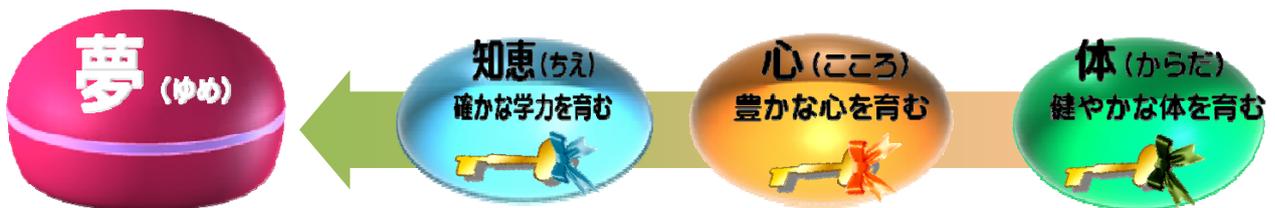
人は、「夢」をいだき、これを「こころざし」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。

その道のりは、決して平坦ではありませんが、自らを叱咤し、友を思いやり、社会の中で助け合いながら、「夢」の実現に一步一步近づいていくのです。

深谷市は、このような子どもたちの自立と成長を手助けしていきます。

Point5

未来を切り拓く「夢を叶える3つの鍵」



こころざしを立て、自らの「夢」を実現するためには、「**知恵、心、体**」の3つの鍵が必要です。子どもたちが、この3つの鍵を手に入れて、生きる力を身につけ、未来を切り拓いていけるよう、学校、家庭、地域が一体となって連携し、協働することが大切です。

夢七訓

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求める者は 夢なかるべからず
*この「夢七訓」は、渋沢栄一翁が残したものとされています。 !!!!!

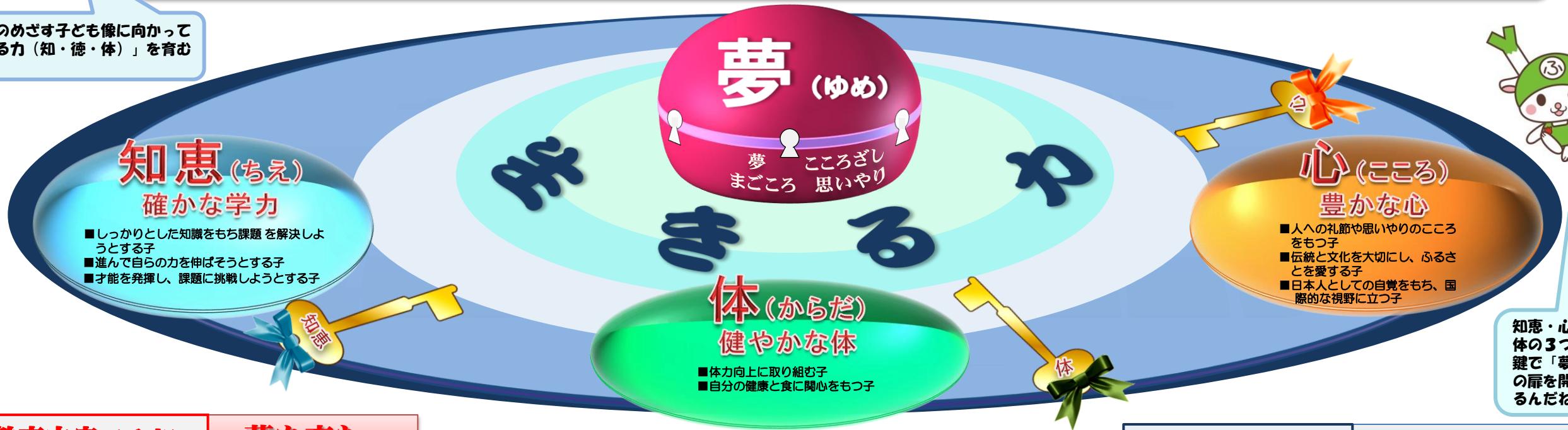
～深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組みます～

渋沢栄一翁は、近代日本の礎を築いた郷土の偉人であり、教育や福祉、さらには、国際親善などでもたくさんの業績を残しました。これらの業績を成し得たのは、栄一翁が生涯を通じて、「立志の精神」と「忠恕の心」を大切にしていたからです。このような中、このたび、東北地方太平洋沖地震が発生し、これまでにない大きな規模の災害となっております。しかし、このような厳しい環境にあっても、人々は復興に向けて立ち上がり、全国からの温かい支援の手が差し伸べられ、そこには、人々が互いを思いやり、支え合う精神を垣間見ることができます。深谷市教育委員会では、これまでの学校教育振興懇談会の協議を踏まえるとともに、今般の未曾有の危機に際して見られた人々の不易の精神をくみ取り、「夢とこころざし」と「まごころと思いやり」を深谷市教育の根底にすえ、次代を担う人づくりを推進します。



深谷市のめざす子ども像 夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

深谷市のめざす子ども像に向かって「生きる力（知・徳・体）」を育むんだね。



知恵・心・体の3つの鍵で「夢」の扉を開けるんだね。

教育内容 (重点) 夢を育む

- 基礎・基本、活用力を身につける
- 豊かな人間性を身につける
- 心身の健康を保持し、体力を身につける
- 個の違いを大切にし、共に生きる姿勢を身につける
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につける
- 職業観・勤労観を身につける
- 具体的取組
 - 小・中学生の基礎学力の定着 ●言語活動の充実
 - 国語・算数・数学・英語の学力向上
 - 早期英語教育の推進 ●道徳教育の充実
 - 体力向上の推進 ●特別支援教育の推進
 - リーダーとなる人材育成 ●体験的な学習の充実



条件整備 (重点) 夢を支える

- 0歳から15歳までの子どもを一貫して育てる
 - ・0歳から15歳までの成長を組織的・継続的に支援する
- 教育・福祉の連携
 - ・情報の共有と協働により、様々な課題に素早く対応する
- 教師の力量向上「熱い思い、指導力、人間力」
- 青淵・学びの郷づくり
 - 保幼小中高大の連携
 - 人材を活用した学校支援(不登校、虐待等対応)
 - 学校ICTの活用
 - 教育研究所の資源の活用
 - 学校応援団の充実
 - 「ありがとう」があふれる街づくり

夢七訓

夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし 計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし ゆえに幸福を求める者は 夢なかるべからず

夢とこころざしをもち、未来を切り拓く「学び」の充実

自分に関わる人たちと仲良く関係を築く力が、今求められています。
 道徳教育や体験活動を充実します。

健やかな体は、「生きる力」の土台であり、人間の活動の源です。
 生活習慣の確立に努め、体育や健康教育、食育の充実に努めます。



教育内容 (重点) 夢を育む

- 基礎・基本、活用力を身につける
- 豊かな人間性を身につける
- 心身の健康を保持し、体力を身につける
- 個の違いを大切に、共に生きる姿勢を身につける
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につける
- 職業観・勤労観を身につける

■具体的取組

- 小・中学生の基礎学力の定着 ●言語活動の充実
- 国語、算数・数学、英語の学力向上
- 早期英語教育の推進 ●道徳教育の充実
- 体力向上の推進 ●特別支援教育の推進
- リーダーとなる人材育成 ●体験的な学習の充実

子どもたち一人一人を大切にし、個々の教育的ニーズに応えた特別支援教育を推進します。

夢を叶え、未来を切り拓いていくために、望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育を推進します。

変化の激しい社会を生き抜くには、基礎・基本の力を習得することが基盤となります。
 その力を活用し、自ら課題を解決できる子どもたちを育てます。

国際化や情報化への対応を図り、情報活用能力の向上や小学校からの早期英語教育を推進します。



個性や能力を發揮し、豊かに学ぶことのできる「教育環境」の充実

乳幼児期から義務教育期までの継続的な支援に努めます。
 小1プロブレム、中1ギャップ、高1不適應への対応など、園・校種間の「なめらかな接続」を目指します。

条件整備 (重点) 夢を支える

- 0歳から15歳までの子どもを一貫して育てる
 - ・0歳から15歳までの成長を組織的・継続的に支援する
- 教育・福祉の連携
 - ・情報の共有と協働により、様々な課題に素早く対応する
- 教師の力量向上「熱い思い、指導力、人間力」
- 青淵・学びの郷づくり
 - 保幼小中高大の連携
 - 人材を活用した学校支援(不登校、虐待等対応)
 - 学校ICTの活用
 - 教育研究所の資源の活用
 - 学校応援団の充実
 - 「ありがとう」があふれる街づくり

教育研究所を核として、教育と福祉との協働を進め、子どもたちの支援体制づくりに努めます。

学校・家庭・地域が一体となり、よりよい教育環境づくりのため、子どもたち一人一人の夢を支える「青淵・学びの郷づくり」を推進します。

子どもたちの夢を支え 子どもたちの夢を育む 園・学校・地域連携

